

チュートリアル課題 変わるものと変わらないもの

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-10-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032577

2015年度 Segment. 6

課 題 No.4

課題名：変わるものと変わらないもの

課題作成者：精神医学
神経内科学
画像診断学・核医学

澤村 実紀
北川 一夫
坂井 修二



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

林檎野 香里（りんごの かおり）さんは、笑顔の絶えない73歳の女性です。昔から花や果物が好きで、元気で世話好きな性格もあって、無農薬林檎園もほとんど一人で切り盛りし、70歳を間近にしたところにそれを長男に譲りました。今は、孫の花子（はなこ）さんにあてて花や果物の写真を撮ったり、絵手紙を描いて送ったり、趣味の散歩とスケッチなどをして、のんびりと毎日を送っています。絵手紙を描くときには、林檎園をめぐる四季の美しさを思い出し、筆が進みます。散歩も、林檎園を無心に歩いていると、明るい陽射しと林檎の芳しさが、日々のいやなことも忘れさせてくれます。

素敵な林檎の木をみつけたので、少しスケッチでもしてみようと思ったところで、
「あれ・・・? なにかを忘れている・・・、あら、色鉛筆はどこにやったかしら・・・!? それと・・・画用紙ももってきてなかったわね・・・!」
ふと、いつも必要でもっているはずの持ち物を、今日もってきていないことに気づきました。最初は何をもってきて忘れたかさえ思い出せませんでした。このところ林檎野香里さんは物忘れが多くなっています。そういえば、2～3年前から、家族から注意をされることが増えたようです。

シート2

物忘れが続き、林檎野さんはちょっと心配になり、病院に行くことにしました。

病院ではまず、面接を受け、お酒を多く飲んでいないか、頭をぶつけるようなことはなかったか、などいくつかの質問をされました。いずれも心当たりはありませんでした。

林檎野さんは、区民健康診断では、採血、心電図、血圧測定などを受けて、いつも問題なしといわれていたの
で、そのことも医師に話しました。

シート3

医師の診察時の神経学的所見にはとくに異常は認めませんでした。「検査をしましょう。まずはいくつか質問をさせてください。随分ばかばかしい質問も混じっていますが、物忘れの検査のためなのでお願いします」医師はこう断って、林檎野さんに、質問形式の検査をしました。

「頭の写真を撮る検査もやっておきましょう」医師は、林檎野香里さんに、頭部MRI検査と脳血流SPECT検査を予約しました。

シート4

林檎野さんは検査の結果説明を受け、担当医師から「アルツハイマー型認知症」と病名を告げられました。そして、この後の治療と、生活上のアドバイスや福祉制度について聞きました。スケッチも、林檎園での散歩や四季の絵手紙を描くのも、よいことだと、医師は話してくれました。

シート5

今日は孫の花子（はなこ）さんに車椅子を押されて近くの公園に来ました。広い公園の木立のなかに車椅子をとめて木漏れ日を浴びていると、まるで林檎園の中にいるようです。「おやつにしよう。すりおろし、作ってきたの」花子さんはすりおろし林檎を少しスプーンにのせて、林檎野さんの口に含ませました。林檎野さんは、ふと体を動かし、いつもよりも目を見開き、そしてまた目を閉じて、ゆったりと微笑みました。

「おばあちゃん、やっぱり、覚えているのね、うちの林檎」花子さんが林檎野さんに言いました。

「林檎は、育てるひとのこころ次第で、みんな違った香りと味わいになるって、おばあちゃん、言っていたよね」

林檎野さんはまたちょっと微笑んでいるようでした。